

農報

水稲



水稲営農情報



水稲

新木 真一
農畜産課 課長
0969-22-1105

田植え

4月上旬より田植えが始まります。苗は、田植えの5日前位から育苗ハウスのサイドビニールを下げて、外気に充分ならしましょう。(遅霜の場合は注意して下さい。)

① 田植えの適期は4月5日から15日です。

② 植え付け本数は、坪当たり55～60株程度、1株の百数は3～5本が標準となります。苗数が多くなると過繁茂の原因となり、倒伏や病害虫が発生しやすくなりますので注意しましょう。田植機の整備・調整は事前に必ず行って下さい。

③ 植え付けの深さは活着や分げつ等に大きく影響しますので、2～3cmを目安としましょう。

水管理

暖かい日中は浅水にしますが、活着するまでは朝晩

冷え込むことがありますので、新しい根が出るまでは深水にしましょう。活着後は浅水管理で水温・地温の上昇を図り、分げつの促進に努めて下さい。

病害虫防除

初期では、イネミズゾウムシや葉いもち病が防除の中心となります。田植え前に必ず箱施薬を散布むらがないように施用しましょう。1箱当たりの散布量は50gとなります。

除草剤は、回植え後5日から15日に散布し、その後は湛水状態を5日程度保つて下さい。水の掛け流しや、土の表面が見えるような場合は、除草の効果が落ちます。

浅水状態で土の表面が見える場合は秋起こし時に土の移動を行い均平にしましょう。

箱施薬や除草剤の使用方法は早期水稲耕種基準を参照して下さい。

果樹



3月の柑橘園管理



果樹

山下 俊二
下島営農指導センター
080-1729-1632

1. 採収と予措

品種	収穫時期	予措程度
清見	2月21日～	3日(1%)
河内晩柑	適期採収 2月21日～	14日(3%)
	後期採収 4月1日～	7日(2%)

2. 病害虫防除

収穫に入る前に貯蔵病害防除を行い、腐敗果を出さないようにしましょう。また、クラッキング、ヤケ果に注意してください。

農薬散布の際は、収穫前日数に十分注意をしてください。

対象病害虫	品目	薬剤名	希釈倍数	備考
かいはよう病	温州	ICボルドー66D	60倍	3月中旬(発芽前)
	中晩柑			3月中旬～下旬(発芽前)
ミカンハダニ	中晩柑	ハーベストオイル97%	80倍	3月上旬まで

※ボルドー剤を散布する時は、ハーベストオイルを散布してから2週間ほど間隔をあけて下さい。

3. 施肥

タイプ	肥料名	品種名	10a当り	時期
通常タイプ	熊本果樹肥料 10-7-4 又はひのくに果樹9-3-3	極早生・早生温州	4袋	3月下旬
		ポンカン・清見・河内晩柑・甘夏・パール柑		3月上旬
省力タイプ (年2回施肥)	アグリロング28号	デコボン	4袋	3月上旬
		極早生・早生温州	5袋	3月上旬
		中熟・普通温州		
		ポンカン	4袋	
		清見・河内晩柑・甘夏・パール柑	6袋	
		デコボン	5袋	

4. 樹勢回復・着花対策

収穫が終わった品種については樹勢回復のためチッソ主体の葉面散布を実施しましょう。その後発芽までにリン酸・カリを主体とした葉面散布を行いましょう。

また、極端に樹勢が落ち込んだ樹については、希釈倍数を規定濃度よりも薄くしてから散布しましょう。

目的	薬剤名	希釈倍数	備考
樹勢回復	尿素又はアミノジューシーN14	500倍	収穫後3回以上集中散布しましょう。(4日おきに3回連用)
	神協スピリッツ	1,000倍	
花芽分化促進	ファームメント又はジューシーエース	500倍	

5. せん定

内向枝や立ち枝、被さり枝を中心に除去し、日光が十分に当たるようにしましょう。また、着花が心配される園地については間引き主体のせん定を行うか、着花確認後にせん定を行うようにしましょう。



定植後の管理・トマト



野菜
田中 直
上島営農指導センター
080-1729-1636

一番目の花が咲き、生長してくると茎や葉のつけ根からわき芽が盛んに出てきます。

トマトは基本的には一本立てにしますので、「わき芽」は全て摘み取りましょう。

※実を大きくし、日当たりや風通しをよくし、病害虫の発生を少なくします。



授粉作業をしましょう。

実をつけやすくするため、花の花粉がついてから花の房を軽く揺するか、市販のホルモン剤（トマトトン）を散布しましょう。（着果を促す効果があります。）

ホルモン剤は同じ花に2度散布しないよう注意してください。（2度かけると実が奇形になります。）

摘心（新芽を摘み取ること）をします。

主柱の高さ位に茎が伸びると5～6花房が付きま

ので、一番上の花房の上の葉を2枚残して摘心しましょう。その時は、樹勢維持の為わき芽を2本残します。

追肥

一番目の果実がピンポン玉大になったころ化成肥料を株元にまき、土に軽く混ぜます。

※一度に多く追肥をすると根が傷んだり、果実の尻腐れがでることがありますので注意してください。また石灰が不足することにより尻腐れが発生します。

収穫

開花してから約50～60日で収穫できます。

家庭菜園の場合は真っ赤に色づいた時（完熟）に収穫しましょう。



あわ栽培について



花卉
中原 英幸
下島営農指導センター
080-1729-1629

J Aあまくさ管内で、夏場の品目として出荷されています。

見た目は猫じゃらしが巨大化したような感じで、緑色の清涼感のある品目です。市場へは夏場の商材として取引しています。栽培的にはさほど難しくありません。直売所ではなく市場向けの出荷としての品目です。

作型/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
5月出荷			○									
6月出荷				○								
7月出荷					○							
8月出荷						○						
9月出荷							○					

〈品種〉

種苗会社：福花園

①極早生大房あわ（早出しから遅出しまで可能）

1dl詰・1袋/約24,000粒

②紅くじゃく（穂が赤く染まる）（約2a分程度）

③ハツ房あわ（花穂の先端が分かれる珍しい品種）

※J Aあまくさでは、①の品種が100%出荷で他品種は栽培も出荷もありません。

〈適地性〉

日当たり、風通しが良く、排水良好な圃場が適します。

〈元肥〉

堆肥を1a当り土作りに200kg投入します。基肥は窒素、リン酸、加里を各成分で1a当り約0.8～1.4kg程度施用します。

〈定植及び管理〉

畝幅75～80cmに株間15cm、条間15cmの4条で直播します。播種量は1ヶ所に5粒播きとし、播種後、軽く覆土します。覆土後は十分灌水します。

フラワーネットは1段とし、15cmの5つ目とします。フラワーネット

トの目に播種するかたちとなります。中央の目は灌水チューブを設置します。

発芽まで4～7日かかりますので、発芽するまで土壌が乾かないよう管理します。

発芽後は土壌が乾いたら灌水します。

ある程度、芽が大きくなったら3本仕立てになるよう間引きします。

密植しすぎると茎が細くなり、ボリューム不足の原因となるので注意します。

〈病害虫〉

病気についてはさほどありませんが、夏場の栽培でするので害虫の防除は定期的に行います。

〈栽培注意点〉

密植栽培はボリューム不足となりますので密植栽培は避けてください。

灌水不足は草丈が短くなるので十分灌水ください。

〈規格栽培注意点〉

等級	階級	草丈	1ヶ条当り重量(kg)	結束	箱詰本数	花	茎	草姿	病害虫
等級	2L	90cm	4kg以上	10本	100本	切り前 適正な もの	曲がり がない もの	ハランス 良好で ボリューム あるもの	認めないもの
	L	80cm	3kg以上	10本	100本				
	M	70cm	2kg以上	10本	100本				
	S	60cm	1kg以上	10本	100本				
収穫	切り前は、穂の長さが7cm程度。								
調整	下葉は除去は全体の1/3の葉を取り除く。葉の長さは、10cm程度に切りそろえる。 穂部分の葉は、穂が半分以上見えるように切り揃える。								
選別	出荷規格に従って良心的な選別に努める。規格とおりにない場合、等階級格下げとする。								
結束	よく揃ったものを10本選び、穂の先端部分をそろえる。								
水揚	しおれないように水揚げを行う。								

※わからない点がありましたら、上下営農センター花卉担当までご連絡ください。